

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 香美市

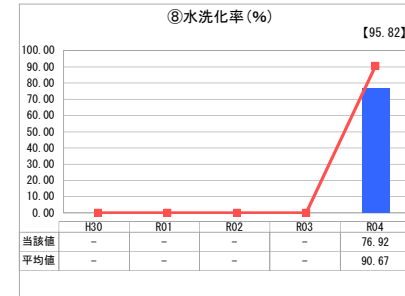
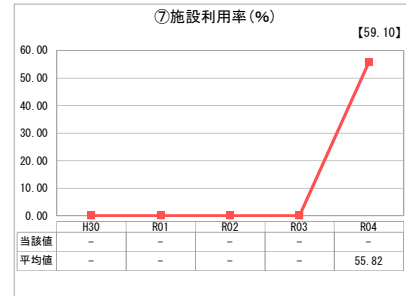
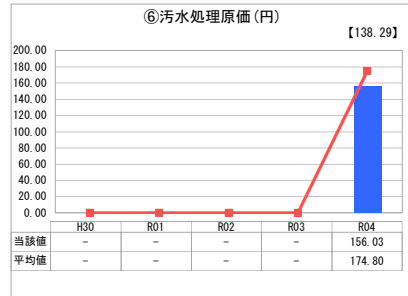
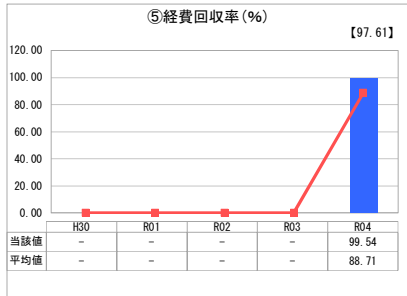
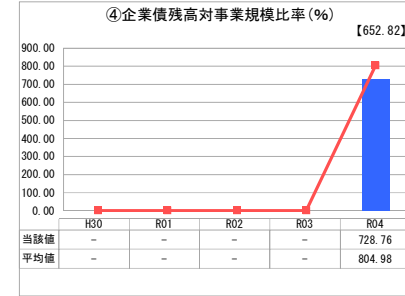
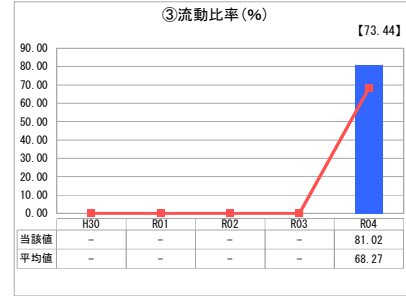
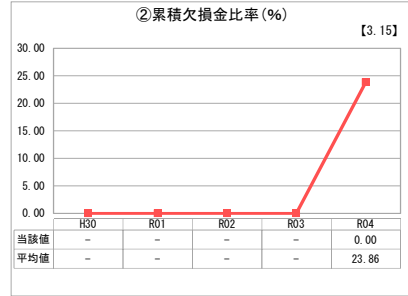
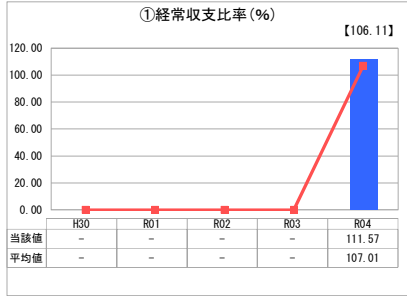
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	69.79	43.43	89.47	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,381	537.86	47.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,948	2.60	4,210.77

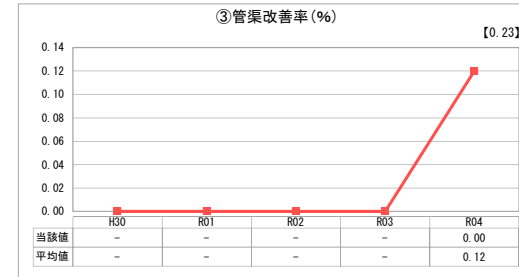
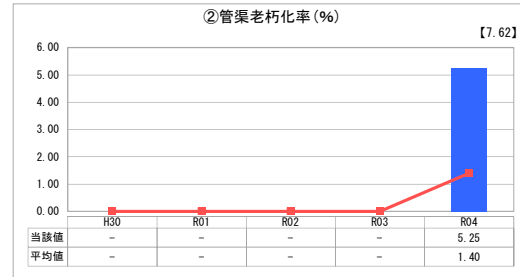
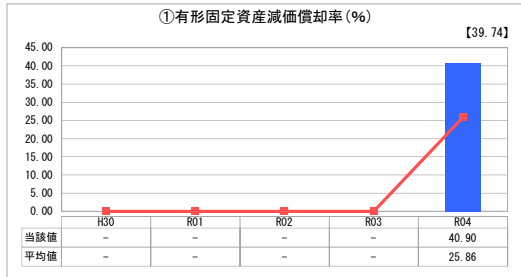
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④ 地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金も充てられているため、他の類似団体と比較すると低い状況となっています。
 ⑤ 経費回収率は類似団体と比較して高い水準を維持しており、維持管理費用については下水道使用料収入で概ね賚っております。
 ⑥ 汚水処理原価は、県の流域下水道へ接続し、3市で処理場運営を行っていることから、単独で処理場を有する団体と比較すると、施設投資や維持管理費用が抑えられており、平均を下回っている状況です。
 ⑦ 施設利用率は処理施設を有していないため当該値はありません。
 ⑧ 水洗化率は、接続可能戸数の少ない市街化調整区域の整備へと移行していることから、大幅な接続率の向上は難しい見込みとなっております。

2. 老朽化の状況について

現状では管渠の耐用年数は超過していませんが、近年管渠周辺の路面陥没等の修繕が増加してきており、老朽化に対する対策が必要となっております。
 今後は、耐震診断の結果やストックマネジメント計画(維持管理計画)に基づき、計画的な更新・維持管理を行っていく予定です。

全体総括

今後、修繕費などの維持管理費の増加や地震対策及び管渠の更新等が必要であることから、財政状況の見直し、財源の確保が急務となっております。そのため、維持管理費の節減及び水洗化率向上に一層取り組んでいきます。具体的には、令和3年度から排水量1㎡あたり税込33円を増額しました。(ただし、経過措置として、令和3年4月検針分から令和4年3月検針分までは現行の料金で据え置き、令和4年4月検針分から令和9年4月検針分までは使用水量1㎡あたり税込16.5円の増額となります。)

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。